

「市として寄付を受けることは困難である」

～4月の全員協議会で市長発表

◆建設場所変更から一転、建物寄付受け入れなしへ◆

4月28日、行政と議員による全員協議会が開かれ、市が新たな判断を
発表しました。「今回、市として美術館の整備を前提とした寄付を
受けることは困難である」。

主な理由は、①維持管理費の縮減を検討したが設計変更にかかり、
総合文化施設の整備スケジュールに影響する。

②建築費高騰により、提示された寄付金額で寄付者の
希望する美術館を整備するのは難しい。

しかし6月現在、美術館についての明確な決定事項は出されてはいません。

◆「計画段階から市議会や市民等の意見を集約していくことが大切」◆

～ようやく市が《市民無視》反省の弁

全員協議会資料に、「美術館の
整備については、市として十分な
時間をかけて検討し、計画段階か
ら市議会や市民等の意見を集約
していくことが大切でありました」と
いう記述が入りました。公園を見
守り続けた市民の主張がようやく
認められたようですが、依然とし
て市民の見守り行動を「妨害行
為」ととらえていることは、深く反
省してほしいものです。

市民への説明会を開催する
という約束が今回、コミュニティ協議
会会長と相談するという回答で、
いまだに実施されていません。
市長自身の責任で、早期の開催
を願います。

早く森に入りたい!!



香里ヶ丘中央公園における
建設は、ほぼ断念とみてよい
と思われます。

1日も早いフェンス撤去を求
め、地域のお母さんたちが署
名活動を始めています。